事務事業評価資料

施策名	県民の県政参画機会の充実	所管部局課名	企画県民部知事室広聴室
事業名	走る県民教室	担当者電話番号	県民相談係　078-362-3022
事業目的	地域住民が県内の県施設等を見学することを通じて、県政理解と地域間交流を促進する。		
事業内容	地域団体が借り上げるバス経費の一部補助 ①補助対象者:一般県民、②補助率1/2：上限日帰り25千円、1泊2日50千円	事業開始年度	昭和52年度

事業に要するコスト	区　分	平成19年度決算額		平成20年度当初予算額		平成21年度当初予算額	
	事業費①	(0 千円) 147,698 千円		(0 千円) 105,950 千円		(0 千円) 105,950 千円	
	人件費②	56,158 千円	従事人員 6.3人	53,367 千円	従事人員 6.3人	44,308 千円	従事人員 5.3人
	総コスト (①＋②)	203,856 千円	従事人員 6.3人	159,317 千円	従事人員 6.3人	150,258 千円	従事人員 5.3人

事業の目標	①　走る県民教室の参加人数の確保	[目標設定理由]　「走る県民教室」を含む県民交流バスの実施により、H17～22年度で100万人の交流を達成し、県政理解と地域間交流の充実を図るため

目標の達成度を示す指標	指標名	目標		19年度実績	20年度見込み	21年度目標	達成率（%）		
		目標値	年度				H19	H20	H21
	参加人数	860,000人	H17～H22	117,022人 (累計430,946人) (1.8 千円)	86,532人 (累計517,478人) (1.8 千円)	140,000人 (累計657,478人) (1.1 千円)	50.1%	60.2%	76.5%

評価結果		
	必　要　性	・県・市町施設や様々な行政施策に直接触れることによる県政理解の促進を通じて、県政の基軸である参画と協働の推進及び地域間交流の拡大を図ることが必要である。
	有　効　性	・厳しい景気状況等の影響もあり、参加者数が伸び悩むものの、年間10万人前後の県民に利用されており、県政理解と地域間交流の推進が図られている。
	効　率　性	・H20年度に入り急激な景気後退の影響もあり、参加者が減少しているものの、参加者一人あたりのコストは現状維持(H19→H20)となっており、効率的な事業運営を図っている。
	民間・市町との役割分担	・県下全域にわたる地域間交流の拡大と県政理解の促進を目的とする事業であり、広域行政を担う県が主体性を発揮すべき行政分野である。
	受益と負担の適正化	・平成20年度新行革プランの中で、県民ニーズの高い事業であることを考慮し、助成台数及び補助率1/2を維持した上で、補助限度額引き下げの見直しを行っており、受益と負担の一層の適正化に取り組んでいる。

実施方針		
	方　向　性	新規　拡充　(継続)　実施手法の見直し 廃止　縮小　統合　凍結(休止)　延長　終期設定
	実施手法の見直し内容	市町移譲　民間移譲　民間委託　ＰＦＩ　負担割合変更　事務改善　その他
	説明	県民の県政理解と地域間交流の促進に役立つ効果的な事業であるため、引き続き実施する。